

今、そしてこれからのダスキン健康保険組合について、

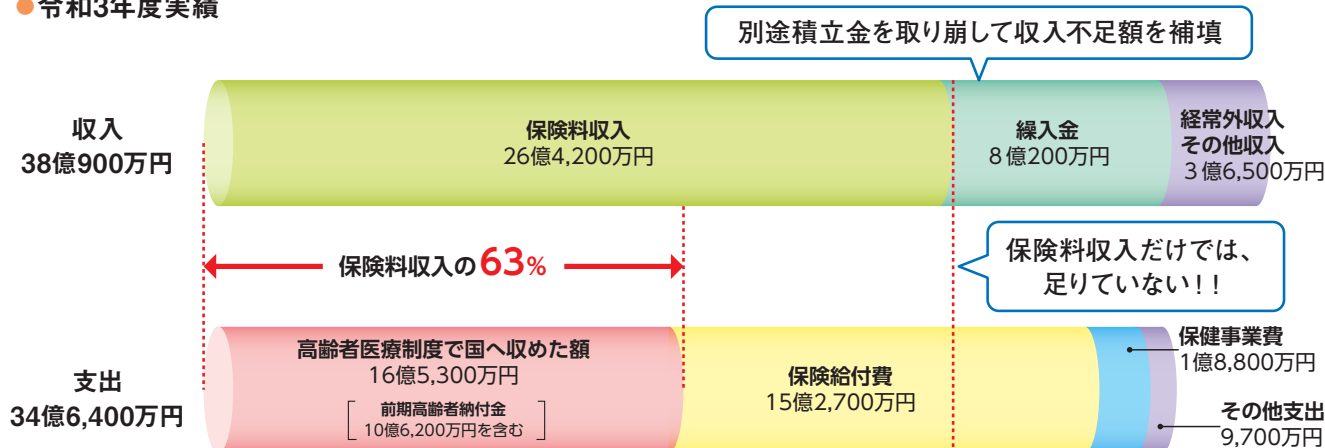
【1】ダスキン健康保険組合の財政のこと

◆ダスキン健康保険組合の危機的財政状況

皆さまからいただいている保険料は、**ご本人・ご家族の保険給付費（医療費など）**の他に、国へ収める（国から割り当てられる）**高齢者医療制度の納付金**（65歳から74歳までの「**前期高齢者納付金**」と、75歳以上の「**後期高齢者支援金**」）などに使用しています。

高齢者医療制度の納付金は年々増加傾向にあり、令和3年度は保険料収入の約63%を占め、保険料収入だけでは賸えないため、別途積立金（財産）を取り崩している状況です。財産である別途積立金が枯渇しているため、当健保の存続が難しい状況となっています。

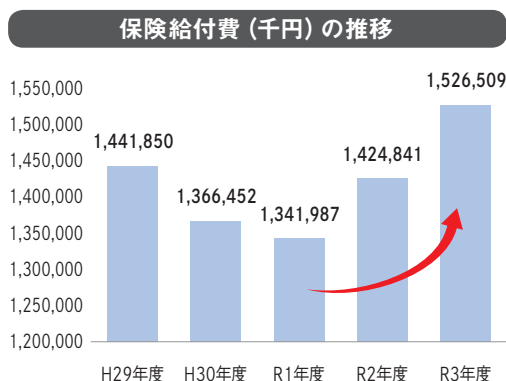
●令和3年度実績



【2】保険給付費（医療にかかった費用）のこと

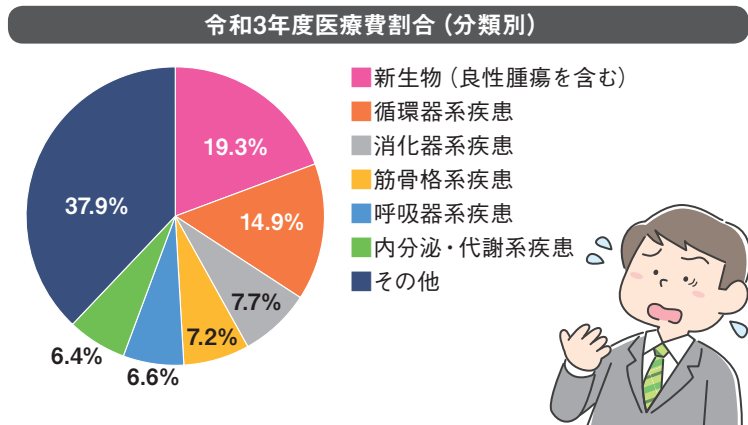
◆予測を超える保険給付費（医療にかかった費用）の伸長。がん、循環器系疾患で高額療養費が発生も。

当健保の保険給付費（医療費など）は、令和元年度より年々上昇傾向にあり、令和3年度は、令和元年度から約1億8,500万円増加しました。



令和3年度の医療費に占める疾病分類別の割合は、1位新生物（19.3%）、2位循環器系疾患（14.9%）、3位消化器系疾患（7.7%）となっています。

悪性腫瘍の新生物（がん）については、早期発見・早期治療により死亡リスクを減らし、治療にかかる身体的、精神的、金銭的な負担をより少なく抑えられます。循環器系・消化器系疾患については、生活習慣の改善により未然に防いだり、悪化を防ぐことができます。



早期発見・早期治療で、病気を重症化させないようにすれば…

▶▶▶ 将来的な**保険給付費**（医療費の負担）が**減ります**。

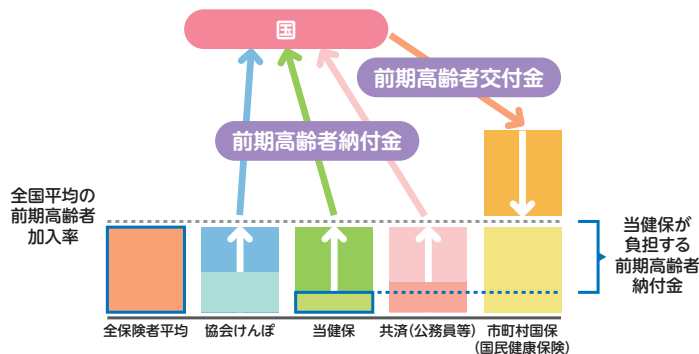
組合員の皆さまとともに考える！



前期高齢者納付金のこと

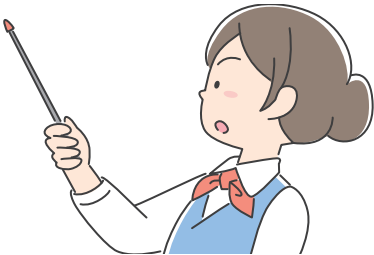
◆「前期高齢者納付金」の額は、どのようにして決まるのか？

前期高齢者（65歳以上75歳未満）は国民健康保険（市町村国保）への加入が多く、医療費の負担は国民健康保険に偏るため、この不均衡の解消を目的に、各保険者の前期高齢者の加入率に応じて負担を調整するしくみがとられています（加入率が平均より少ない保険者は差分を負担します）。



この計算の際、その保険者に属する前期高齢者の1人当たりの医療費が積算されます。

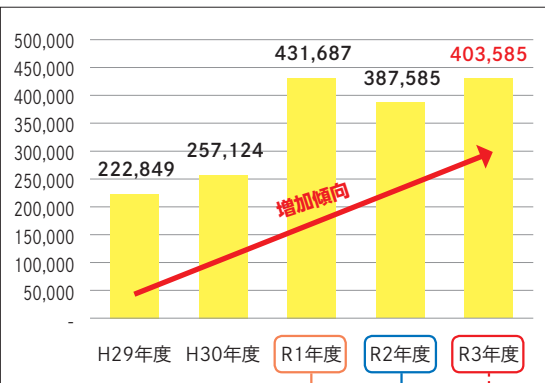
当健保の最近の加入率に大きな変動はありませんが、1人当たりの医療費が大きく増加しており、これに伴い納付金の額が大幅に増加しています。



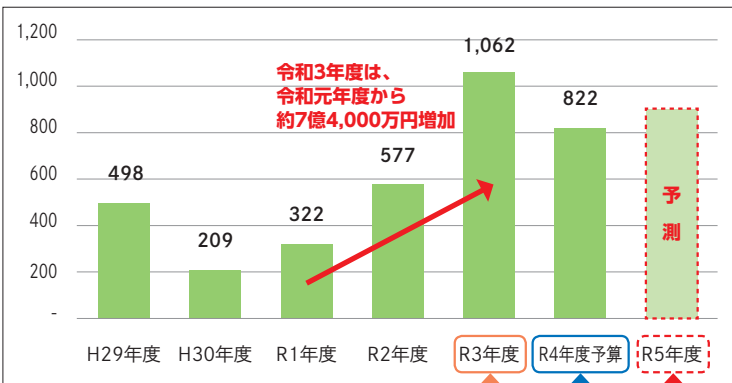
●概算計算式

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{前期高齢者} \\ \text{保険給付費} \\ \text{【当健保】} \\ \hline \end{array} \times \frac{\begin{array}{|c|} \hline \text{前期高齢者加入率} \\ \text{【全国平均】} \\ \hline \end{array}}{\begin{array}{|c|} \hline \text{前期高齢者加入率} \\ \text{【当健保】} \\ \hline \end{array}} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{補正係数} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{前期高齢者納付金} \\ \text{（概算）} \\ \hline \end{array}$$

前期高齢者1人当たりの保険給付費の推移（円）



前期高齢者納付金の推移（百万円）



2年後の前期高齢者納付金に反映

前期高齢者の1人当たりの保険給付費（医療費など）と前期高齢者加入率が、2年後に納付する前期高齢者納付金の額に影響します。よって、令和3年度の前期高齢者の保険給付費が令和5年度に納付する前期高齢者納付金に反映されます。

今年度（令和4年度）の前期高齢者の保険給付費は、令和6年度に納付する前期高齢者納付金を左右することになります。

元気で健康な前期高齢者（65歳～74歳）の方が増えると…

▶▶▶ 皆さまの保険料から拠出する**前期高齢者納付金**が減ります。

その4

お一人お一人ができること

組合員の皆さまお一人お一人が、自分自身はもちろんのこと、さらには家族やダスキン健康保険組合は、その想いと行動をサポートします。

「ダスキン健康保険組合は、なによりも働きさんお一人お一人が本当に幸福になってほしい。しかも働きさんご自身だけで支え、ともに歩む健康保険組合でありたいと願っています。組合員お一人お一人の健康維持・増進への取り組みが医療費の負担も生じます。定年延長・適用拡大により65歳以上の人数増加は今後も続きます。がんや重症疾患の早期発見や生活習慣

**早期がんで発見できるのは1～2年。
定期的にがん検診を。**

初期には自覚症状がなく、早期がんの期間も1～2年と短いことから、定期的ながん検診を受けましょう。提携医療機関での定期健康診断の検査項目には大腸および婦人科のがん検診があります。40歳以降3歳刻みの節目検診では、胃がん発見のために、胃部内視鏡検査を加えています。定期健康診断を巡回健診で受診された方は、がん検診（補助金制度）を利用して大腸および婦人科のがん検診を受診してください。



▶ P16～ がん検診
(補助金制度)

**健康診断の二次健診は
早めに受診しよう。**

「要精密検査・要治療」の判定が出た方は、早めに二次健診の受診をして、早期発見・早期治療に努めましょう。早期発見をしなければ、早期治療ができません。

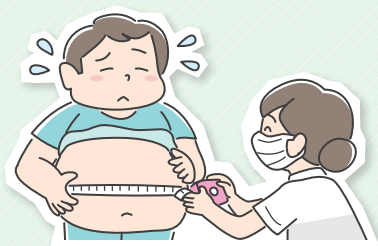
早期治療により、身体的・経済的な負担も少なくなります。



重症化予防
のために

**特定保健指導、
重症化予防プログラムも
活用しよう。**

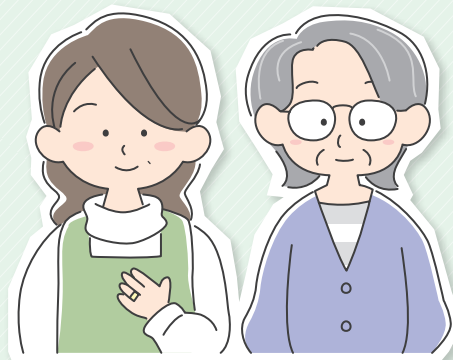
健診の結果、生活習慣の改善が必要な方には、該当プログラムの参加案内をお送りします。案内が届いた方は、無料で生活習慣改善プログラムが受けられるチャンスです。10年後、20年後の健康のために、ぜひ参加を！



▶ P12～
(生活習慣改善プログラム)
(重症化予防プログラム)

**扶養されている配偶者や、
ご家族の方も、
年1回のファミリー健診。**

扶養されている配偶者や、40歳以上の扶養家族の方は、当健保の定期健康診断（ファミリー健診）を受診ください。予約申し込みの締め切りは2022年10月31日(月)です。2022年12月31日(土)までに受診ください。



ともに働く仲間のためにも、今できることの実践を！

ダスキン健康保険組合が
取り組む保健事業については、
P12以降をご覧ください。

なく、ご家族も含めて」という創業者鈴木清一の願いが込められた事業です。働きさんとその家族一人一人の健康を適正化につながります。重症化による医療費の増加は、各個人の負担分だけでなく、治療に伴う心身への負担、家族への改善などに、お一人お一人の積極的な取り組みをお願いします。

気軽に相談できる、 かかりつけ医をもとう。

日常生活における健康の相談や体調が悪いときなどに、相談できるかかりつけ医をもつと安心です。大病院の受診などの判断に困ったときにも、まずはかかりつけ医に相談（大病院に初診で受診する際は、かかりつけ医や他の医療機関からの紹介状が必要です）。症状に応じた専門医の紹介なども対応してもらえるので、同じ病気（症状）で複数の医療機関を転々と渡り歩く「はしご受診」による身体的・精神的な負担や治療費の負担も防ぐことができます。

▼こちらも参考に

上手な医療のかかり方.jp（厚生労働省）

<https://kakarikata.mhlw.go.jp/>

※上手な医療のかかり方に関する情報を発信していく厚生労働省の公式ウェブサイトです。



ジェネリック医薬品を 活用しよう。



ジェネリック医薬品は、特許期間が過ぎた後に販売される後発医薬品です。価格はおおむね新薬の30～60%。効き目や安全性は新薬と同等です。

医師や薬剤師に相談してジェネリック医薬品を活用しましょう。

※ジェネリック医薬品がないお薬もあります。

上手な医療の かかり方

柔道整復師（整骨院・接骨院）は 適切に受診しよう。

柔道整復師（整骨院・接骨院）に健康保険を使って受診できるのは、外傷性の負傷で慢性に至っていないものだけです。慢性的な痛みは、他の疾患が原因となる場合もありますので、医師の診察を受けてください。



そして、健康のために 毎日できることは！

野菜からゆっくり しっかり噛んで食べよう。

血糖値の急上昇を抑えます。

1日にとりたい
野菜の量は、
生野菜で両手
山盛り1杯。



朝食を食べていない人は、
バナナ1本、牛乳1杯でも。
まずは朝食を食べる習慣を！

朝食は欠かさず 食べよう。

朝食抜きは脳血管障害の
リスクを高めます。



今より10分多く歩こう。

運動不足はメタボの敵！

糖尿病・高血圧症・脂質異常症の
発症や悪化を防ぎ、
筋力低下も予防します。



kencomの「みんなで歩活」にも
参加しよう。

▶ P21(歩活へ)

週2日の休肝日を 設けよう。

ノンアルコール飲料を活用して
休肝日も、“飲んだ気分”で
乗り切りましょう。



お酒は適量に。
タバコは家族のためにも、禁煙しよう！
やめられないという人は禁煙外来へ。

健康的な食事・運動習慣の実践を！